

宮前地区防災活動革命道中

2026年7月4日(土)

松山市自主防災組織ネットワーク会議

合同分科会事例発表

宮前地区自主防災連合会

この一枚から始まりました



宮前地区5年計画

- 前提)南海トラフ地震は2035年±5年頃に発生すると想定(京都大学鎌田浩毅名誉教授の学説)



「地震」と「火山」の国に暮らすあなたに贈る 大人のための地学の教室
/鎌田浩毅 ダイヤモンド社

- 上記前提に基づき2025年度から2030年度までの中期計画を策定
- 目的)五月雨式な単年度イベントではなく中期計画に基づき、段階的に地域防災力を育てる

地震発生から避難所生活までのフロー

- ①南海トラフ地震発生(震度6弱～6強)
- ②標高10m以上の高台へ避難
- ③救助
- ④在宅避難
- ⑤避難所運営

※災害の流れ全体を意識した訓練活動

5か年ロードマップ

年度	内容
2025年	南海トラフ地震に対する理解を深める(必ず発生する)
2026年	津波からの避難
2027年	救助活動(防災士には限界がある)
2028年	生活維持(在宅避難を基本に置く)
2029年	避難所運営(在宅避難ができない方向け)

※2030年以降は南海トラフ地震がいつ発生するか分からない緊迫した状態ではあるが、内容を更新させながら再度中期計画を立て、地震発生に備えた訓練、研修を重ねていく

「南海トラフ地震はほぼ100%発生します。
そのメカニズムを学びましょう。」

南海トラフ地震の襲来が近づいて いるという、知っておきたいお話

愛媛大学防災情報研究センター

防災・減災，国土強靱化総合研究部門 特定教授



2026年度テーマ

- 13,000人の命を守る避難行動へ
- 津波到達までの3時間を活かす宮前の地域防災



損保ジャパン社による「逃げ地図づくり」
研修風景（令和8年3月17日）

→一般的には避難所までの移動が前提でのワークショップだが、宮前地区では津波発生時に避難所として想定している施設の多くが浸水想定区域内にあるため、標高10mの地点をターゲットに移動経路を探った

LINE連絡網の構築

- 防災会長・役員をLINEグループ化
- 情報共有の即時化
- 電話連絡網からの脱却



Illustration generated
by ChatGPT

宮前地区防災活動革命道中

南海トラフ地震は
「起きるかどうか」ではなく
「いつ起きるか」

私たちは2035年±5年を前提に
地震を理解し
津波から逃げ
地域で助け合い
命をつなぐ

13,000人の命を守るために

—— 宮前地区防災活動革命道中 ——

揺れたら**逃げる**。 それを**当たり前**に。

～ 13,000人の命を守るために ～

宮前地区自主防災連合会

ご清聴ありがとうございました

